

## 令和6年度鶴見区区政会議 第2回全体会 会議要旨

1 日時 令和7年3月26日(水) 午後7時00分から午後8時59分

2 場所 鶴見区役所 3階 302会議室

3 出席者  
(委員)

桑名委員(議長)、黒澤委員(副議長)、有村委員、石本委員、小倉委員、金児委員、坂本委員、段野委員、西岡委員、西山(真)委員、西山(靖)委員、橋本委員\*、原田委員、松本委員、南口委員、安井委員、山田(竜)委員、吉永委員(※はWeb参加)

(鶴見区役所)

内田区長、西中副区長、塚本総務課長、木村政策推進担当課長、中村市民協働課長、上原教育担当課長、西久保窓口サービス課長、広瀬保健福祉課長、市橋子育て支援担当課長、貴田保健担当課長、大川生活支援担当課長

4 議題

- (1) 運営方針の成果指標における区民アンケート結果の取扱いなどについて
- (2) 令和6年度区政会議(第1回全体会)での意見とその対応等について
- (3) 「令和7年度鶴見区運営方針(素案)及び(案)」にかかる意見とその対応等について
- (4) 区政会議における主な意見の進捗状況について
- (5) 区政会議に関するアンケート集計結果等について
- (6) 令和7年度鶴見区運営方針(案)について
- (7) 令和7年度鶴見区予算(案)について

5 議事要旨

(1) 運営方針の成果指標における区民アンケート結果の取扱いなどについて

事務局から「運営方針の成果指標における区民アンケート結果の取扱いなどについて」(資料1)に関する報告を行い、委員からの意見等及び事務局からの回答(概要)は次のとおり。

- ・ 通知にある「区民アンケートや同様の手法で行われるアンケート調査」には、参加者アンケートも含まれるか。今後も参加者アンケートを成果指標として用いるのか。
- ⇒ 参加者アンケートは含まれない。通知は、無作為抽出した対象に実施する、統計法に基づいていないような調査結果は、参考とするのは構わないが、成果指標としては使用しないという内容である。有効と判断すれば、今後も参加者アンケートを指標として用いることがありえる。

(2) 令和6年度区政会議（第1回全体会）での意見とその対応等について

事務局から「令和6年度区政会議（第1回全体会）での意見とその対応等について」（資料2）に関する報告を行い、委員からの意見等及び事務局からの回答（概要）は次のとおり。

- ・ 区民アンケートで実態が把握できるのかと疑問視してきたが、参加者アンケートに比べれば取り組む時間や項目も多く余程信憑性がある。参加者アンケートを成果指標として用いるのであれば、参加者アンケートで実態を把握できると証明する必要があると思うが、どのように考えているか。
- ⇒ 成果指標については、今後皆様の意見も取り入れながら考えていきたい。
- ・ SNSはそれぞれに特色があり、若者にはインスタグラムが支持されている事実がある。若者向けの発信であればインスタグラムは有効だと思うので、まずやってみてほしい。
- ⇒ 対象を絞ればインスタグラムが有効なツールであることは認識しており、今後検討の余地はあるが、現在は大阪市LINE公式アカウントからの発信に注力したい。
- ・ 昨年度の区政会議第3回全体会の様子を録画したユーチューブ動画の再生回数が多かったが、視聴者の95%は関連動画から偶然当該動画を視聴していたということは、従来の動画の周知方法はあまり市民に届いていないということであり、次は何がやれるかもう一步踏み込んで次の施策を考えてほしいと感じた。

(3) 「令和7年度鶴見区運営方針（素案）及び（案）」にかかる意見とその対応等について

各部会の部会長から『令和7年度鶴見区運営方針（素案）及び（案）』にかかる意見とその対応等について」（資料3）に関する報告を行い、委員からの意見等及び事務局からの回答（概要）は次のとおり。

- ・ 交通安全対策として交通マナー向上に向けた啓発活動、その成果指標に自転車事故の割合や死傷者数があげられているが、事故に遭わないようにする施策の成果指標が事故や死傷者数というのはおかしい。また、マナーが上がれば事故や死傷者数が減ると言っても、事故や死傷者数が減ったからとて区民の交通マナーが向上したとは言えないということは、両者に因果関係がないので、成果指標としては不適切と指摘してきたが、因果関係が一定あるとの回答であり、改めて成果指標の有効性について確認したい。
- ⇒ 自転車事故の割合や死傷者数と交通マナーには因果関係があると考えている。自動車学校やイオンモール等での啓発キャンペーンが、交通マナーの向上に繋がり、自転車事故を減らすと考えている。
- ・ 大阪市LINE公式アカウントを友だち登録することで、「つるりっぷ」のLINEスタンプがダウンロードできるというような特典があれば登録者数も増えるのではないかと。
- ⇒ 可能であれば実施したいが、可能か確認の上、回答したい。

(4) 区政会議における主な意見の進捗状況について

事務局から「区政会議における主な意見の進捗状況について」（資料4）に関する報告を行い、委員からの意見等は特段なかった。

(5) 区政会議に関するアンケート集計結果等について

事務局から「区政会議に関するアンケート集計結果等について」（資料5）に関する報告を行い、委員からの意見等は特段なかった。

(6) 令和7年度鶴見区運営方針（案）及び(7) 令和7年度鶴見区予算（案）について

事務局から「令和7年度鶴見区運営方針（案）及び令和7年度鶴見区予算（案）について」（資料6・7・8）に関する報告を行い、委員からの意見等及び事務局からの回答（概要）は次のとおり。

- ・ 運営方針「経営課題5 環境にやさしいまちづくり」について、令和5年度時点で、区民アンケートで「鶴見区が花や緑あふれるまちと感じている」と回答した区民の割合を85%以上にするという単年度目標を達成できていないが、令和7年度の花と緑のまちづくり推進事業予算が昨年度より80万円下がっているのはなぜか。  
⇒ 花博30周年記念植樹にかかる育成管理として90万円程度予算を計上していたが、令和7年度から育成管理がなくなるため、その分の予算が下がっている。

(7) 市議員からの講評について

会議の最後に、当日臨席した市議員より本会議についてご助言をいただいた。その内容（概要）は次のとおり。

- ・ 会議の中で委員から出た意見や提案、予算について、区役所はその場で答えられるようにしてほしい。区役所所管外の内容などを所管部署に報告した後、どうなったかを回答するようにしてほしい。
- ・ 全体会は各部会からの報告がメインではあるが、報告にかける時間が少し長いように感じる。それぞれの部会の中で活発な議論がなされているので、全体会では他の部会に所属する方も意見交換できるよう、仕組みを整える必要があると感じる。

## 6 会議資料

(1) 次第

(2) 運営方針の成果指標における区民アンケート結果の取扱いなどについて 資料1

(3) 令和6年度区政会議（第1回全体会）での意見とその対応等について 資料2

(4) 「令和7年度鶴見区運営方針（素案）及び（案）」にかかる意見とその対応等について 資料3

(5) 区政会議における主な意見の進捗状況について 資料4

(6) 区政会議に関するアンケート集計結果等について 資料5

- (7) 令和7年度 鶴見区運営方針（案）【独自様式】資料6
- (8) 令和7年度 鶴見区運営方針（案）【共通様式】資料7
- (9) 令和7年度 鶴見区予算（案）資料8